

2025年度広島医療社会科学研究センター・シンポジウム

「生殖補助医療技術をめぐる 社会科学的課題」

生殖における医療技術の利用は、令和4年（2022）4月から、人工授精等が「一般不妊治療」として、体外受精・顕微授精等が「生殖補助医療」として保険適用されたことに示されるように、現在、不妊治療の一般的な選択肢となっているが、その一方で、利用者の身体的・精神的負担や家族生活の諸側面への影響、自己決定をめぐる問題などが指摘されている。本シンポジウムでは、生殖補助医療について、法学、倫理学、社会学の立場からの報告と学際的な意見交換、討論を通して現状認識を深めるとともに、今後の課題やあるべき方向性を探る。

【開催日時】

令和8年 3月28日(土)13:30~17:30

【場 所】

対面会場：広島大学東千田キャンパス 未来創生センターM204

(MAP) <https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai>

※URIをクリック



オンライン
参加URL



https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_YTk5ZjhODQtMTBkNy00MGVkJTk4MjEtOTUyZjYNTizYzJm%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%22c40454dd-b263-4926-868d-8e12640d3750%22%2c%22Oid%22%3a%227a3c0a2c-4be7-43a1-ab41-b89df9dc72c2%22%7d

- ・総合司会 孫 瑞 氏 (広島大学大学院人間社会科学研究科助教)
 - ・開会挨拶 吉中 信人 氏 (広島医療社会科学研究センター長・広島大学法学部長)
 - ・シンポジウム司会進行 浅利 宙 氏 (広島医療社会科学研究センター副センター長・広島大学大学院人間社会科学研究科教授)

〔報告〕

1 「生殖医療技術をめぐる倫理的課題」

澤井 紋 氏 (広島大学院人間社会科学研究科 特定教授)

2 「生殖補助技術と家族」

ジェンダーのあり方——オーストラリアを事例に

藤田 智子 氏（九州大学大学院比較社会文化研究院 准教授）

3 「生殖補助医療をめぐる法的諸問題」

神野 礼斎 氏 (広島大学大学院人間社会科研究科 教授)

- ・閉会挨拶 宮永 文雄 氏（広島大学法学部副学部長・広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

入場無料・事前申込不要/どなたでも参加できます